

# 子供の水の事故

## 6・7・8月は交通事故より怖い

6月の水死七十一人、交通事故死六十四人。

7月の水死百二十三人、交通事故死七十一人。

8月の水死百六十四人、交通事故死百三人。

この数字は、昨年六月から八月までに水死した子供（中学生以下）の数と、同じ時期に交通事故で亡くなった子供

の数です。

これを見ると、水死が交通事故死を大きく上回っているのがわかります。交通事故死の約一・五倍です。

こうした子供の水難事故の六割は、保護者がそばにいないときに起こっています。交通事故の防止とともに、特に

夏の間は次のことに注意して子供を水の事故から守りましょう。

◎子供たちだけで水泳や水遊びに行かせない。行くときは、保護者や大人が必ず同伴する。

特に、幼児がいる場合は、常に目を離さないようにする。

◎雨降りの後などで川や用水堀が増水しているときは、子供たちを近づけないよう注意する。

◎水辺で遊んでいる子供を見かけたら、声をかけ、安全な場所で遊ばせる。

## 1,200年の歴史をたどる

～もうひとつの日光～

7月14日(土)午前8時45分～9時

12チャンネルテレビ東京

## 夏の風物詩「花火」も

### 原料は火薬です

大人も子供も……家族みんなで楽しめる花火は、夏の夜ならではの風物詩です。

最近はおもちゃ花火”と色々な種類が出回り、取り扱いも複雑なものが増えていきます。そのため、一歩取り扱いを間違えると、ケガや火災など思わぬ事故に結びつきます。

”おもちゃ花火”だからとい



つて軽く見るとたいへんなことになります。夏の夜をいろ

## 無謀運転の追放などを ……重点目標に

夏の交通安全運動 7月16日～25日

7月16日から25日までの10日間、夏の交通安全市民総ぐるみ運動が実施されます。

毎年この時期は、夏休みの解放感から、無謀運転などによる交通事故が多発します。このため、運動期間中は特に、暴走行為の追放、二輪車（特に若年層）の無謀運転追放、夜間の交通事故防止を重点目標に展開します。

一人ひとりが交通ルールを守り、また家族みんなで交通安全について話し合い、楽しい夏を過ごしましょう。

## 《ゴミは正しく出しましょう》

○燃えるゴミと燃えないゴミを分けて、生ゴミはよく水を切ってから出しましょう。

○乾電池は、ビニール袋や紙袋に入れて“乾電池”と表示し、燃えないゴミのときに出してください。